

令和 7 年度（2025 年度） 第 3 回小原地域会議 会議録

開催日時	令和 7 年 7 月 1 日（火）	開会	閉会
		午後 6 時 30 分	午後 7 時 45 分
会 場	小原支所 第 1 会議室		
出席者	委 員	竹内正美（会長）、白川悠理（副会長）、景山卓己、大林鐘次、増岡正博、加藤元紀、山内明、成瀬啓一、田澤由佳、鈴木孝典、無州麻美、安藤茂則、成瀬友昭、板倉正典、濱辺誠一	
欠席者	岡田口治、小出透、伊藤大悟		
次 第	開 会		
	1 協議事項		
	・ 地域課題解決事業の評価について		
	2 その他（連絡事項・配布物等）		
	連絡事項：里の駅構想機能検討業務コンサルタント		
	3 会長まとめ		
	閉会		

◆議事録

協議事項：地域課題解決事業の評価について

令和 6 年度に実施した地域課題解決事業（7 事業）について、各委員の評価をもとに改善点等を話し合った。

①生活道路環境整備事業

委員からの意見等

- ・支障木について、土地所有者や地元が管理をするのは当然だが、どうしても人手不足で実施できない状況にある。この制度は大変意義のあるものでぜひ継続してもらいたい。
- ・国県道は対象外であるが、交通量が多いことを勘案してこちらも対象にできると良い。
- ・以前、神社の枯れ木をこの制度で伐採したが、1 本だけでもかなりの費用と聞いた。伐採の必要な箇所（要望）は多いとは思いますが、現状の予算を維持してもらいたい。

②まちづくりリーダー育成事業

・中部小学校がこの事業で作成したパンフレットは素晴らしかった。自分たちの住む地域取材し、大人では気づかない小原の良さが表れていたと思う。他の学校にもこの制度の活用を呼び掛けてほしい。

・四季桜まつりで自分たちで作った小原和紙の缶バッジを配布し、小原の P R を担っている。修学旅行先でも配布するなど、人と人との交流が生まれている。

- ・子どもたちの作成したパンフレットや小物を常に配布できる場所があると良い。
- ・わくわく事業団体の交流会により、連携した事業も生まれている。定期的に情報交換ができる場は必要だと思う。

③市場城跡活用事業

- ・市場城跡に訪れる人もかなり増えている。小原観光として、和紙のふるさとから緑の公園、そして市場城跡へとつながる散策路を考えていきたい。
- ・観光協会の協力を得ながら、ガイドボランティアの立ち上げ、順路看板を整備する。
- ・今年度も行う発掘調査で新たな発見に期待したい。小中学校の参加もぜひ検討してもらいたい。

まとめ

- ・今回評価した３事業については継続実施で了承。ただし、改善が必要なものについては引き続き審議を行っていく。